

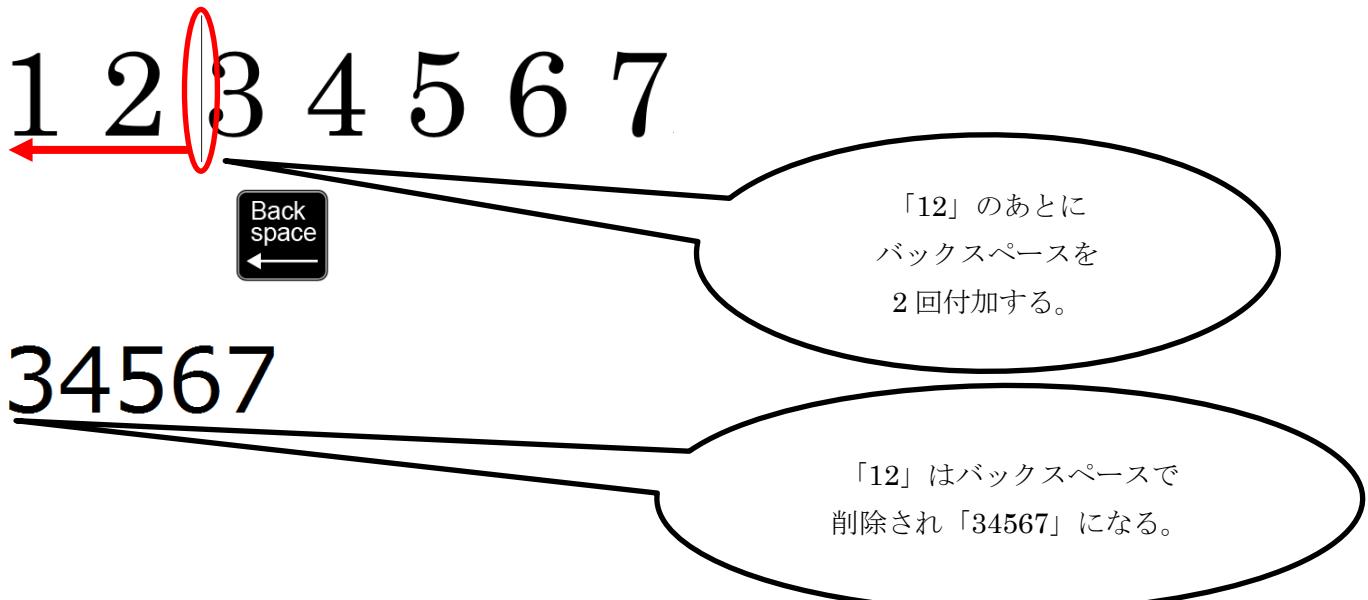
◆文字列の削除：バックスペース付加（MD630 シリーズ）

○説明

バーコードデータにバックスペースを入れることで削除が可能です。

○処理イメージ

例：「1234567」の先頭 2 文字を削除する（2 衞目から 2 つバックスペースを付加する）



○下記のような設定は可能です。

例 1：バーコード「12345」から 3 衞目を消して「1245」と送信する。（部分削除）

→

例 2：バーコード「12345」の 1～3 衞目を消して「45」と送信する。（指定した桁から○文字削除）

→

例 3：バーコード「12345」の 4,5 衞目を消して「123」と送信する（末尾から○文字削除）

→

例 4：バーコードの種類が「CODE39 の場合のみ」3 衞目を削除する（削除にコードの条件指定）

→
CODE39 なので 3 衞目を削除

→
CODE39 では無いので削除しない

○設定手順

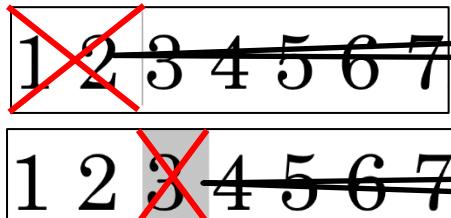
- 下記のコードを読み取ります。



8101

- 削除開始位置を設定してください。

例：



先頭 2 桁を消す場合は「0→2」

3 桁目を消す場合は「0→3」



3. 下記のコードを読み取ります。



設定完了

4. 下記のコードを読み取ります。



8005

5. バックスペースを付加する回数分、「0→8」を指定します。

※20 文字まで削除可能です。

例：

~~1 2 3 4 5 6 7~~

先頭 2 文字を消す場合は
「0→8」を 2 回。

1 2 3 ~~4 5 6 7~~

1 文字を消す場合は
「0→8」を 1 回

削除する文字数分、「0→8」を読み取ります。



0



8

※誤読防止のために斜めに配置しています。

6. 下記のコードを読み取ります。



設定完了

>> 次ページに続きます。

7.最後に下記コードを上から順に読み取り、設定完了です。

※コードの種類を指定して反映することも可能です。

下記の「0407」コードの代わりに完全版マニュアルのコード毎に記載のある、

「グループ選択を挿入」項目のコードを読み取ることで対応可能です。



0407



0



1



設定完了